

介

護予防事業について、各担当地区の地域包括支援センターにご相談ください！

高齢者の皆さんが
いつまでも健やかに
住み慣れた地域で生活できるように

倉吉市には、地域包括支援センターが5か所あります。
介護・福祉・保健の専門職員(主任ケアマネージャー、
社会福祉士、保健師など)がチームとなって、担当地域で
喜ぶ高齢者の皆さんを支援します。

こんなことについて…

- ▶ 通所トレーニングの利用
- ▶ 介護予防教室の開催
- ▶ 日ごろのさまざまな不安



うつぶき 地域包括支援センター



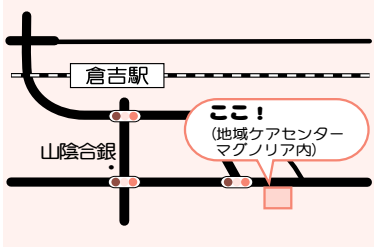
担当地域：上北条・社・高城
所在地：上井300
TEL 26-6378 / FAX 47-4766



マグノリア 地域包括支援センター



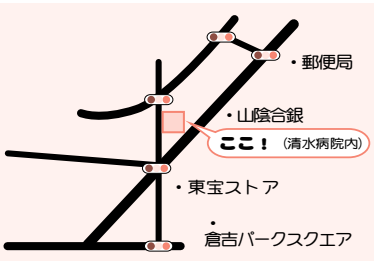
担当地域：上井・西郷・灘手
所在地：上井町1丁目2-1
TEL 26-3922 / FAX 26-3923



倉吉中央(上灘・成徳) 地域包括支援センター



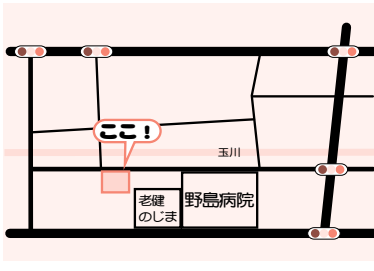
担当地域：上灘・成徳
所在地：宮川町129
TEL 22-6102 / FAX 22-6106



明倫・小鴨 地域包括支援センター



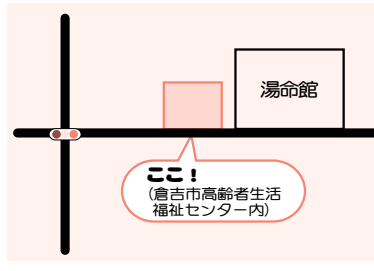
担当地域：明倫・小鴨
所在地：瀬崎町2714-1
TEL 23-7106 / FAX 23-7122



かもがわ 地域包括支援センター



担当地域：北谷・上小鴨・関金
所在地：関金町関金宿1115-2
TEL 45-3888 / FAX 45-2533



倉吉市の介護保険事業計画の見直しや、地域包括支援センターの設置運営について話し合う「倉吉市いきいき長寿社会推進協議会部会」の委員を募集します。

募集人員…2人
応募資格…市内に在住している介護保険の被保険者(40歳以上)の人で、年3回程度平日に開催される委員会に出席できる人
任期…3年
応募方法…介護保険に望むこと、応募の動機、高齢社会のあり方などを800字程度(様式は問いません)にまとめ、住所・名前・年齢・電話番号を明記した上で、持参または郵送してください。
応募期限…8月19日(金)必着
問 長寿社会課(〒682-18611
(住所不要)TEL 22-17851 / FAX 22-12954)

**「倉吉市
いきいき長寿社会
推進協議会
部会委員」
を募集
します。**

レッツ! 介護予防

8月の認知症の人と家族の会 「家族の集い」

介護家族・介護体験者が参加して、お互いが抱えている悩みを語り合い、分かち合ったり、情報交換したり、何でも話し合える場です。気軽に参加してください。

倉吉会場 第3木曜日

と き：8月18日(木)午前10時～正午
ところ：倉吉交流プラザ

関金会場 10月、1月の第1木曜日

問 長寿社会課(☎22-7851/☎22-2954)

8月ホッといきいき教室 ～介護予防教室～

【と き】8月24日(水)午前10時30分～午後3時

【内 容】午前：話「尿失禁について考えよう」

講 師：加藤典紅さん(加藤調剤薬局)

午後：自由時間(脳トレクイズ、ニュースポーツ、健康相談など)

ところ：グリーンスコレセきがね

参加料：1,300円(昼食・入浴料)

募集条件：65歳以上で、介護認定を受けていない人
※毎月、申し込みが必要です。

※送迎希望の場合は、開催日の1週間前までにご連絡ください。

問 長寿社会課(☎22-7851/☎22-2954)

市民フォーラム

第2回 認知症サミット鳥取

～認知症になっても誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを～

今、高齢者虐待、孤独死、老老介護、認認介護など、さまざまな地域課題を解決するためにも、住民、地域、専門職、行政などのネットワークにより活動を進める「仕組み」が求められています。

そこで、各分野のリーダーをパネリストに迎え、活動展開方法と課題を探ることを目的に、認知症サミット鳥取を開催します。

【と き】8月21日(日)午後0時50分～4時

【ところ】新日本海新聞社中部本社

【オープニングアトラクション】ゴスペルオーブ

【基調講演】「認知症予防のできるまちづくりを目指して」
講 師：浦上 克哉さん(鳥取大学医学部教授)

【活動報告】座 長：山田 修平さん(鳥取短期大学学長)

【ディスカッション】コーディネーター：山田 修平さん

【参加料】無料

問 認知症サミット鳥取事務局(NPO法人がいなネット事務局)
(☎0859-29-0099/☎0859-24-2249)、または倉吉市役所長寿社会課(☎22-7851/☎22-2954)

とりたんオープンキャンパス

進学を希望する高校生や社会人の皆さんはもちろん、保護者、一般の皆さんもぜひお気軽にお越しください。

【と き】8月20日(土)
午前11時～午後3時30分
(受付:午前10時15分～)

◎学科別授業体験

- ・ことばを楽しむ～伝承ことばあそび～
- ・Excel応用術！～利用者に配慮したシステム作り～
- ・ペーパークラフトで現代建築をつくろう
- ・簡単なおやつ作りに挑戦してみよう
- ・そもそも「教育」って何だろう？～語源から考える～ほか

◎卒業生パネルディスカッション

◎保護者対象説明会

◎社会人入学相談コーナー など

昼食(無料)

【無料送迎バス】

行 き：倉吉駅4番バス乗り場 発
(午前10時25分、10時45分)

帰 り：短大 発(午後3時40分、3時55分)

■次回開催は、9月11日(日)の予定です。

問 鳥取短期大学 入試広報課(☎26-9171)



鳥取短期大学
キャンパス
塔より 187

白鳥寮にて避難訓練を行いました

6月22日(水)午後3時から短大敷地内にある学生寮「白鳥寮」で、避難訓練を実施しました。

この訓練は、寮内の調理室での火災発生を想定して建物から避難するという内容で、第1発見者の学生による火災の発見報告からスタートしました。寮内に火災発生からの放送があり、非常ベルが鳴り響く中、学生たちは外部階段を下りて、速やかに建物の外に避難しました。この後、4

参加した学生は、「震災もあつたので、今日の訓練を忘れないように普段から火の元などに気を付けたい」と話しており、今回の訓練が、災害に対する意識を高めるきっかけになったようです。



▲消火訓練を行う学生

市長コラム



災害に強いまちづくり

倉吉市長 石田 耕太郎

3月11日の東日本大震災からまもなく5か月が経とうとしています。大地震、大津波、そして原子力発電所の事故と、二重三重に重なった大災害は、いまだ復興の目途も立たない現状にあります。とりわけ原子力発電所の事故は、その対処に今後数十年単位の時間を要するとも言われており、対象地域の方々が一日も早く元の生活を取り戻せるよう祈るばかりです。

私も去る6月に宮城県石巻市を訪問し、亀山市長さんからお話を伺うとともに、本市から避難所支援として派遣している職員の激励も行いました。比較的大きな災害が少ないと言われる倉吉ですが、こうした被災地の姿も見ながら、油断せず、しっかりとした防災体制をつくっていかなくてはならないと改めて感じたところです。

災害は、地震や津波だけでなく、今年の正月の大雪の被害、各地で発生しているゲリラ豪雨や台風などいろいろな災害への対処を考えておく必要があります。

今回の地震、津波の際にも、各自治体で避難を呼びかける放送が流されていました。本市でも防災行政無線が整備されていますが、家を閉め切っているとき、大雨のときなどには放送がよく聞こえないとの苦情も伺っています。避難情報などが市民の皆さんに的確に伝わることは最も基本的な要素です。このため、こうした情報がきちんと伝わるよう、屋外放送のほか、各家庭に戸別の屋内受信機をつけるよう、防災行政無線の再整備を進めることとしております。

また、一人では避難の難しい方もたくさんいらっしゃいます。避難所や避難経路の見直しも必要です。また、それらを想定した訓練も必要です。自主防災組織の強化を図り、地域の皆さんの協力で避難できる体制をつくっていきたいと思います。

今年の4月から、市の新しい組織として、防災調整監と防災安全課を設置しました。科学的知見に基づき改めて被害想定を見直し、それらを踏まえて市としてのしっかりとした防災計画をつくっていきたいと考えています。

시나브로 한국
シナブロ 韓国 No.27

国際交流員

チョン

鄭 然旭

韓国出身

ヨンウック

然旭

韓国出身



故郷、江陵 ③

今月で、私の故郷である江陵の話も最後になります。

これまで江陵のさまざまな魅力や見どころを紹介してきました。今回は、江陵など江原道東部のおいしい食べ物を紹介します。

韓国の食の都と言えば、全羅道を中心とした西南部が有名ですが、素材を生かした素朴な味が特徴である江原道の食べ物も、とてもおいしいです。

江陵の食べ物といえば、まず豆腐が浮かびます。にがりの代わりに海水で固めた豆腐は、素材の純粋な味と独特な風味を持つ一品です。そのおぼろ豆腐を温め、醤油だけで味付けして食べるスンドゥブ

も格別です。韓国でのおぼろ豆腐の一般的な食べ方は、辛く濃い味のチゲが多いですが、江陵だけは、このようにシンプルに食べます。

先日、江原道には朗報がありました。2018年冬季五輪の開催地として、江原道が選ばれたのです。メイン会場は、スキー場でも有名な平昌ですが、水上競技は江陵がメイン会場だそうです。スピードスケートやアイスホッケーはもちろん、人気のフィギュアやカーリングなどが開催されます。多くの人々が、五輪をきっかけに訪れ、江陵の魅力に触れることを期待しています。

江陵や江原道という地名を聞くと、ジャガイモを連想する韓国人が多いです。それは、平野の少ない江原道では、昔からジャガイモの栽培が盛んだからです。そのジャガイモで作ったチヂミやすいとんなど、色んな食べ物もおいしく、私も帰省するたびに楽しみにしています。

そばも有名で、江陵から西に車で40分ほど走ったところにある、平昌という高原地帯が名産地です。チヂミやムク(そば粉を煮かため、ゼリー状にしたもの)といった食べ物や、水キムチの汁で作った冷たいスープに、そばの麺を入れて食べるマッククスもおいしいです。

また、江原道の東側は、東海にも面しているため、海の幸もとても有名です。夏にはイカなどがよく取れ、冬はホッケなど油の乗ったおいしい魚をよく食べます。韓国語



▲左上から時計回り、スンドゥブ、ジャガイモチヂミ、そばムク、マッククス

●今月の一言●
정말 맛있어요!
「本当においしいです!」

まちがど ピンナッツ



～不法投棄の根絶を目指して～ 「うえきつつみ植木堤」の不法投棄廃棄物撤去奉仕作業

7月6日(水)

昨年に引き続き、植木堤(国府)で不法投棄されているごみの撤去を行うため、近隣住民をはじめ、久米ヶ原土地改良区の組合員、県産業廃棄物協会中部支部の会員、行政機関の職員など約60人が集まりました。

約1時間30分の作業で、鉄くずや農業用ビニール、タイヤ、家電品などの不法投棄された廃棄物が集まり、県産業廃棄物協会中部支部から無償提供されたクレーン車やダンプなどを使い、2トンドンプ5台分のごみを、撤去しました。

～より便利で役立つ公共交通を目指して～

第1回倉吉市地域公共交通会議

7月6日(水)

倉吉市では、バスやタクシーなどの公共交通の運行を、より地域のニーズに応え、市民生活に役立つものにするよう話し合う「倉吉市地域公共交通会議」を設置しています。

今年度1回目となるこの会議では、NPOたかしろが実施している過疎地有償運送事業に係る更新申請を承認したほか、10月から実施予定のJR倉吉駅北側商業施設への新規バス運行について協議しました。新規のバス運行については、「多くの住民に利用してもらえるようしっかり周知してほしい」などの意見が出され、承認されました。



～必要不可欠な人材となることを目指して～

倉吉市商工従業員激励大会

7月7日(木)

倉吉市内の商工業の事業所に勤務する従業員を表彰する式典と激励大会が倉吉市と倉吉商工会議所により開催されました。

10年以上同一の事業所に勤務した「永年勤続者」137人へ表彰状と記念品が贈呈され、今年、新たに事業所に就職した「新規学校卒業者」115人に記念品が贈られました。

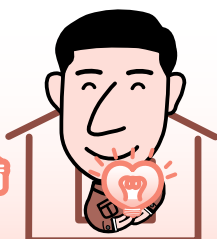
被表彰者を代表して、オンキョートレーディング株の深田宏美さんが、「これまで自分なりの工夫を重ね、仲間と切磋琢磨して仕事に励んできた。今後も新しく入社した人と一緒に努力していきたい」と謝辞と決意を述べました。



広告募集申!! 倉吉市総合政策課
(0858)2218161 / FAX 2218144

- 太陽光発電
- LED照明器具
- エコキュート
- その他省エネルギー設備

倉吉市から補助金が出ます!!



株式会社 **エナテクス** ☎28-1111
倉吉市海田西町2-37 <http://www.enatex.co.jp>

今月の福祉補聴器相談会

日時: 8月24日(水) AM10:00~12:00
相談会は、毎月第四水曜日です。
場所: 市役所東庁舎1階 福祉課横 倉吉市福祉事務所

補聴器 聴力測定室 完備
点検・調整
いつでもOK

福祉法補聴器から最新デジタル補聴器まで

メガネのイワマ

倉吉市鍛冶町 ショッピングセンターめいりん内
TEL 0858-22-5551 営業時間 あさ9時~

～有料広告募集中～

【大きさ】

- 1号: 縦5cm×横18cm
- 2号: 縦5cm×横9cm
- 3号: 縦5cm×横6cm

【掲載料】

- 1号: 30,000円/回
- 2号: 15,000円/回
- 3号: 10,000円/回



出かけよう!

★★★★★★

倉吉パークスクエア 8月の催し物ピックアップ

★★★★★★

倉吉未来中心 (TEL)23-5390 / (FAX)47-0255、倉吉交流プラザ: (TEL)47-1181 / (FAX)47-1180

倉吉未来中心 大ホール

■第51回全日本吹奏楽コンクール 鳥取県大会

と き: 8月6日(土) 10:30~18:00
 8月7日(日) 10:00~19:00
 8月8日(月) 10:00~17:30

■倉吉未来中心 ホールたんけんツアー 2011

と き: 8月20日(土) 10:00~正午

■平成23年度県民総合福祉大会

と き: 8月25日(木) 10:30~14:30

倉吉未来中心 小ホール

■第22回鳥取県道徳教育研究大会

と き: 8月9日(火) 9:30~16:30

■トミヤピアノ合同発表会

と き: 8月21日(日) ①10:00~、②12:30~、③14:30~
 8月28日(日) ①9:30~、②12:30~、③14:30~

倉吉未来中心 アトリウム

■とっとり地域生活百景・ととりの^{こてえ}鏝絵なまこ壁展示会

と き: 8月9日(火)~16日(火) 12:00(初日)~13:00(最終日)

倉吉未来中心 リハーサル室

■ヤングミュージックフェスティバル2011

と き: 8月21日(日) 14:00~18:00

倉吉交流プラザ 第1研修室

■鳥取短期大学公開講座「つくる楽しさ あじわう喜び 最近のものづくりを体験してみようーオルゴールづくりー」

と き: 8月7日(日) 13:30~15:00

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

■鳥取短期大学公開講座「つくる楽しさ あじわう喜び 生きがいのある地域社会をつくる」

と き: 8月20日(土) 13:30~15:00

■鳥取短期大学公開講座「つくる楽しさ あじわう喜び 作家 その人と真実」

と き: 8月27日(土) 13:30~15:00

ふれあい広場

■フリーマーケット「くらよし大市」

と き: 8月28日(日) 9:00~正午

■ニホンリス誕生のお知らせ

子リスが誕生しました。観察は、柵の外から静かに行ってください。

なお、ケージ内の見学は、秋ごろに実施する予定です。



▲ニホンリス

- 《百花堂》** ■第6回「山陰モノクロの会」写真展 5日~10日 ■中部版画展 12日~17日 ■山崎雲外北谷教室社中展 19日~24日 ■夏の草物盆栽展 26日~30日
- 《リフレプラザ倉吉》** ■森井裕子線細ペン画展 15日~30日 ■上神の里陶芸教室作品展 9月1日~13日
- スポーツ**
- 《市営陸上競技場》** ■第42回鳥取県ジュニア陸上選手権大会 27日・28日
- 《市営ラグビー場》** ■倉吉サッカーフェスティバル 20日・21日
- 《市営庭球場》** ■秋田・広富杯ソフトテニス大会 6日 ■中部中学校学年別ソフトテニス大会 27日
- 《市営野球場》** ■第47回鳥取県労働者スポーツ祭典軟式野球大会 6日 ■第13回尾坂雅人旗争奪軟式野球大会 7日 ■第12回鳥取県民スポレク祭典式野球競技大会 21日 ■第3回全日本少年春季軟式野球大会 27日・28日
- 《市営関金多目的広場》** ■中部サッカー協会トレスンカップサッカー小学生大会 6日・7日
- 《市営関金野球場》** ■第47回鳥取県労働者スポーツ祭典軟式野球大会 6日・7日 ■第3回全日本少年春季軟式野球大会 27日 ■鳥取キタロウス中国・四国クラブリーグ 28日

展覧会・展示会



市立図書館

倉吉市立図書館 ☎ 47-1183 / ☎ 47-1180
せきがね図書館 ☎ / ☎ 45-2523

今月のオススメ

「真夏の方程式」

東野 圭吾 / 著 文芸春秋

夏休みに美しい海辺の町にやってきた少年。そこで起きた事件は、事故か殺人か。少年は何をし、湯川は何に気づいてしまったのか。



就農相談会

と き：9月4日(日)午前10時～午後3時

ところ：倉吉交流プラザ 第2研修室(2階)

※事前申込必要

☎(財)鳥取県農業農村担い手育成機構(☎0857-26-8350)

「光が照らす未来 照明デザインの仕事」

石井 幹子 / 著 岩波書店

東京タワーや明石海峡大橋のライトアップで知られる世界的照明デザイナーから若い世代に向けたメッセージ。照明デザインの魅力とその可能性を語る。



夏休みお役立ち本コーナーを作りました。

夏休みの宿題に使える「自由研究」「課題図書」「戦争と平和」について書かれた本を集めましたので、ご利用ください。

なお、「自由研究」「課題図書」のシールがはられた本は、1人2冊まで、1週間の貸出とします。予約や貸出の延長はできません。ご協力をお願いします。

「わすれんぼうにかんぱい！」

宮川 ひろ / 作 童心社

お母さんが入院する…。まゆみは、おばさんの家に引っ越して、転校することになりました。新しい先生は、まゆみに「わすれんぼう」になろうと言う。



「パパとぼく」

あおき ひろえ / 作 絵本館

ゆったりとした時間の流れの中で「パパとぼく」のいい関係が描かれている1冊。繊細であたたかい絵が見事な絵本。



8月の休館日 カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
29日は休館日	7	8	9	10	11	12	13
25日は資料整理休館日	14	15	16	17	18	19	20
※8月22日までの月曜日、せきがね図書館は従来通り休館です。	21	22	23	24	25	26	27
○おはなしかい(14:00～) ☎	28	29	30	31			
◇あかちゃんのおはなしかい(11:00～) ☎							
□むかし話をきく会(14:00～) ☎							
△おはなしかい(10:30～) ☎							

倉吉博物館

☎ 22-4409 / ☎ 22-4415

倉吉博物館講座『くらよしの魅力再発見』③

「野外彫刻をめぐる」

白壁土蔵群や彫刻プロムナードに設置している野外彫刻を巡り、作品や彫刻家について解説します。

と き：8月28日(日)午前9時～11時

ところ：彫刻プロムナードほか

集合場所：倉吉博物館

※申込不要・参加費無料

自然ウォッチング

「魚を調べよう」

私たちの身近な川にはどんな生き物がすんでいるのか、タモですくって調べてみませんか。

と き：9月3日(土)

午前9時30分～正午ごろ

ところ：下余戸の小川

集合場所：西郷小学校 正面玄関



▲ドンコ

8月の休館日 1日、8日、22日、29日

展覧会・催し

美術常設企画「子どものための所蔵品展」

博物館にはどんな絵があるのでしょうか。クイズに答えながら展示を楽しんでみませんか。

会 期：8月4日(木)～9月11日(日)

※常設展(考古・歴史民俗資料館)も開催しています。

「夏休み自然科学展－森の生きものたち－」

同じ場所を歩いても、周りの景色に対する意識の違いによって、見えるものが変わってきます。自然の中でどこに目を向けると新しい発見ができるのか、そのヒントを展示します。

会 期：8月6日(土)～28日(日)

「標本の名前を調べる会」

と き：8月21日(日)

午前9時～

11時30分

ところ：倉吉博物館

※申込不要・参加費無料



▲標本の名前をお答えします

「多くの人に陶芸の魅力を

感じてもらうための活動がしたい」

上神焼 上神山窯元

山根 康照 さん



▲素焼きした(粘土で作った器をそのまま焼いた)状態

山根さんは、上神山窯元で4代目になるために、1年前に、9年間過ごした大阪から倉吉に帰り、陶芸活動をしています。実家が上神山窯元だったため、小さいころから陶芸の楽しさに触れて育ちました。しかし、高校生のとき、楽しい一方で失敗作は壊さなければならぬ陶芸の厳しさに直面し、また、親の窯元をすんなり継ぐことにも抵抗を感じた

ため、大阪の大学に進学し、そのまま大阪で就職しました。「陶芸と関わりのない生活をしたい」という気持ちには陶芸をしながらという気持ちはありましたが、3年前に父親が亡くなったことで、残された母親と祖母と一緒に上神焼を守らなければならぬと考えるようになりました。そうしたら、純粹に陶芸をしたという気持ちになりました。

また、大阪にいても、倉吉が好きなはずと変わらせず、休みのたびに帰省しています。多くの親友が倉吉にいたこともあり、倉吉に帰り、陶芸をしようと決意しました。作品づくりの魅力を聞くのと、「上神山窯元の特徴は辰砂」という光沢のある赤です。陶芸の場合、赤は色が安定しづらく、同じように作っても微妙に変わってしまうので難しいです。しかし、その分いい作品ができた時の喜びも大きいです。自分が納得いく作品をもっと作って展示会をするのを目標にしています」と笑顔で答えてくれました。

また、山根さんは、自らの作品づくりだけでなく、さまざまなイベントで陶芸の体験教室を開いています。去年の秋に燕趙園で開催された「輪っしよい!! YU梨HAMMA」や今



▲山根さんの作品

年のゴールデンウィークに開催された「山陰まちなかALWAYS」などに参加しました。「教室で一生懸命作った作品は皆さんが大切にされます。そうやって、陶芸を通じて、物に対する愛着や大切にすることを感じてほしいと思っています。しかし、どこで体験できるかわからない人もまだ多いと思います。窯元でも体験教室をしています。窯元でも体験教室をしているところはありますが、もっと機会を提供して、若い人にも陶芸の魅力を感じてもらおうよう活動することが、自分の仕事のひとつだと思います」

陶芸がしたい、陶芸を多くの人に体験してもらいたい、魅力を感じてもらいたいという強い思いで行動する山根さんが、倉吉の文化を元気にする力の一つになってくれると感じました。

編集後記

夏。昆虫など生き物たちの季節です。田んぼに近付くと、わさび、おたまじゃくしやあめんぼがうごめきます。それを、「生き物大好き」な我が家の小学3年生が放つておけるはずがありません。先日、彼は学校帰りに田んぼをのぞきこみ、夢中になるあまり、田んぼに落ちてしまったそうです。「頭から足の先まで泥だらけで帰ってきて、ほんのびっしょりしたけど、あきれたように話す祖母は、それでいて、どこか孫の腕白ぶりを喜んでいるようにも見えました。さあ、夏休み突入！ 思存、生き物観察をしてOK！ でも、計算ドリルと漢字練習もしっかりやるうね(Y・T)

7月6日(水)に植木堤で行われた不法投棄撤去作業の取材に行きました。去年は環境課の職員として、現場でゴミを拾っていたことを思い出しながら、カメラを構えました。炎天下で足場も悪い中、参加者が協力して不法投棄を撤去する様子が伝わるように、いろいろと角度を変えて撮影をしました。昨年度、中部では新たに40か所の不法投棄現場が発見されるなど、不法投棄が後を絶ちません。撤去作業の様子を広報することが、多くの人にごみについて考える機会になればと思います(K・I)

●倉吉市の人口 (基本台帳)

23,804人(一 11) 男
26,512人(一 18) 女
50,316人(一 29) 計
20,467世帯(一 4)

●外国人登録者数

76人(一 1) 男
172人(一 4) 女
248人(一 5) 計
209世帯(一 3)

(H23.6.30現在)